


いじめについて考える

「いじめのない学校に…」 「いじめのない社会に…」 学校だけでなく、社会全体からいじめが無くなり、誰もが安心して暮らせる社会に… そのためには、自分が言葉を発するとき・行動するとき、相手（周囲）が、どう受け止めるか、相手の気持ちになって考えたうえで、言葉を発する・行動することが大切だと思います。

岩野田小学校では、6月26日（月）から30日（金）までを「いじめ防止強化週間」として、7月3日（月）を「いじめについて考える日」として、以下の内容（抜粋）に全校で取り組みました。

<p>6月 26日</p>		 <p>どんなところがあるかな どんなことがすてきかな</p>	<p>仲間の、そして自分の素敵な姿を見つけましょう。 「かがやきみつけ」は、互いにうれしい気持ちが増え、さらに成長していくことができます。</p>
<p>6月 27日</p>	 <p>ほかほかことば ・いいね ・どうも ・ありがとう ・だいじ ・てつだうよ</p> <p>相手（あいて）も 自分（じぶん）も うれしい</p> <p>やさしい心</p>	<p>クラスで 「ほかほかことば」 を かんがえよう</p>  <p>みんなが「えがお」しているために</p> <p>年 組</p>	<p>生活の中で、「ちくちくことば」をやめ、「ほかほかことば」を使いましょう。相手を大事にした言葉を使うと、相手も自分もうれしくなります。</p>
<p>6月 28日</p>	 <p>すてきな友達 人はみんなだれでも 一人ひとりを愛してあげないから いつもすてきな友達と この手をうなぐのぞ かなしい時も なかまがいれば こころはなごい くらしも なかまがいれば ほくもあつてもとまじは くまもあつてもとまじは いともすてきな友達と ほほえまかわすのぞ あいてはなごい あいてはなごい あいてはなごい あいてはなごい あいてはなごい あいてはなごい</p>	 <p>絆 音楽 仲間 笑顔 勇気</p> <p>心を豊かに つよき</p>	<p>みんなで「すてきな友達」になりましょう。悲しい時、つらい時などに、気持ちを分かり合える友達、助け合える友達がいれば、心の支えになります。</p>

6月 29日	<p>わたしたちの まわりにある『さべつ』 『じんけんもんだい』</p> <p>みんなのしあわせのために 「だれかのこと」じゃなくて 「自分のこと」として考えられる やさしいさべつを岩野田小学校にしよう!</p> 	<p>とくべつな人がもつものではなく、 みんなが同じようにもっている人権</p> <p>▶人権(人がしあわせに生きる権利)は「とくべつ なだれか」ではなく、「だれもが」もっている権利 です。もちろん「あなた」も「まわりの人」も同じよ うに人権をもっています。</p> <p>▶自分を大切にしてください。そして、自分と同じよ うに、周りの人を大切にしてください。</p>	子ども、障がいのある人、 高齢者、外国の人など、差 別することなく、互いに大 切にしていきましょう。 誰もが幸せに生きる権利 があります。
-----------	--	--	--

6月 30日	<p>いのち あなたの おともだちの命は、 たった1つしかない 一番大切なものです。</p> 	<p>「しね」という言葉ほど 「命」を大切にしていな い言葉はありません!</p> 	「しね」という言葉を、岩 野田小、岐阜市、岐阜県、 日本中、世界中からなくし ていきましょう。「命」は、 親からもらった最初の大 切なプレゼントです。
-----------	--	---	--

7月 3日	<p>いのち たいせつ 命を大切にする</p> <p>II</p> <p>からだ ころこ たいせつ 体と心を大切にする</p>	<p>ころこ ・いじめをしない。 あいて きも ・相手の気持ちを そうぞう 想像する。 ・すぐに相談する。</p>	体だけでなく、心も傷つけ ないようにしましょう。相 手の気持ちを想像して、話 したり行動したりするこ とが大切です。傷ついた時 は、すぐ相談しましょう。
----------	---	---	---



「しんゆうだけど
だいきらい」

文・絵
石山さやか
岩崎書店(株)

本を題材にして、全校道徳
を行いました。相手のため
に、と思ってとった行動
は、相手にとって望まない
ことで…より良い仲間関
係について考えました。

今後も、人とのかかわり方について、日々の学校生活の中で、月1回の「いじめを見逃さない日」の中で、繰り返し指導していきます。

しかし、言葉遣いや人とのかかわり方については、学校だけで身につけていくものではありません。ご家庭内でも、地域でも、同じ方針で子どもたちに教えていただきたいと思っています。誰もが安心して暮らせる社会を作るために…